

ブレイス

いのまちあーみ

登場人物

A : 常連(知多あすか)

K : 店長(金滝茂)

X : 派手な鳥・地味な鳥

D : 医者

V : 声

◇

古本雑貨屋「アパレイユ」。

商店街の一角にあり、元はラーメン屋だった店舗。店内には本棚が所狭しと並び、さらにアフリカンな雑貨が置かれていたり服がかかっていたり。という設定。

カウンターの外側と内側に椅子が一脚ずつ置かれている。

◇

K、店に入り板付き。

客入れ音楽F・O。

A、店に入る。狭い店内を慣れた様子で進み、雑誌を取って椅子に座り読み始める。読み終えた様子で帰る。

K、店の中で仕事を始める。掃除をしたり事務作業をしたり。

A、店に入る。雑誌を読んでまた帰る。

K、用事を片付けに外に出ていく。

アパレイユ音楽F・I。

A、店に入る。雑誌を読む。

K、店に戻ってくる。

K あ、もう来てたんだ。
A うん。今日ヒマで。
K 「今日も」ヒマだろ。こっちから呼んでやろうかと思ってたところだよ。
A あ、電気つけてくれる？
A はーい。
A、照明を切り替える。
K チーズケーキ食べる？
A 食べるー。
K 商店街の角のところで安くなってたんだよな。だいじょうぶかな。
A 縁起悪いからそういうこと言わない。
K はいはい。
A じゃオバシくんも……。
A オバシくん？
K バイト。
A バイト？ いる？
K あ、明日だったわ、来るの。
A いつの間に雇った？
K 先週。週三で店番しにくるよ。
A じゃ、わたしのほうが多いな。
K バイトでもないのに週四で来てるほうがおかしいんだよ。
A なんか落ち着くんだよな。
K このゴチャゴチャ感がいいでしょ。
A 置いてある物は謎だけどね？
K 古本屋なのに本より服と物のほうが多いし。一：二：三くらい。
A 本と一緒に関連する雑貨も置いておくっていうの？ 画期的でしょ。
A いや、それはもう、全国にあるでしょ。
K えー、あれは新品じゃんか。古本と古い物が一緒にあるのがいいんだよ。
A 古いつていうか、呪われそうなのばかりだけどなあ。あの仮面とか。
K あれはヤマナカさんの亡くなったおじいさんのお土産を売ってもらったんだ。

A フリカ好きだったんだって。

A 本物じゃん。

K 本物だよ。呪われるよ。

A 置いとかないでよ、そんなの。

K かつこいいだろ。だいたい先代も元のラーメン継がずにどんどん本並べちやっただからお互い様でしょう。

A あ、ここラーメン屋だったんだっけ。

K そうだよ。言わなかったっけ？ ラーメン屋の居抜き。

A まあ本屋にこんなカウンターはいらないもんね。

K 雑貨屋としてはいい感じかもな。商品並べたり。

A これから雑貨屋になっていくの？

K さあなあ。

A あ、さつき古い本と古い物が一緒にあるのがいい、って言ったよね。

A うん。

K 先代に紹介してもらったすごく好きな文章あるんだけど。言ったことあるっけ。

A ううん。

K、カウンター裏から本を取り出す。

K これは私物なんだけど。

A この「書物列車に乗ってきた旅人たち」っていうタイトルのエッセイ。読んでみて。

A 「切符、箸袋、チラシ、弁当の掛紙、伝言、精算書、割引券、へそくり、切手、四葉のクローバー、生写真、年賀状、招待券、軍事郵便、映画の切符、宝くじ、ラブレター、たばこのパッケージ、おみくじ、名刺、給与明細書、お守り、メニュー、菓の効能書き、ブロマイド、答案用紙、温泉案内、紙ナフキン、診察券、のし紙、コースター、包装紙、電報、通信簿、借用书、クリスマスカード、定期券、新聞の切り抜き、献立……。こうして書き並べていると、連想されるものは、遺留品。それともゴミ捨て場。まるで、何かの判じ物みたいだが、これらは全て古本の間に挟まっていたものばかり。古本屋をやっている、人の思い出の絡むものたちを、返すに返せず、捨てるに捨てられず、なにげなく溜めていたものが、やがてわたしの悪趣味なコレクションになった。それらは何十年という旅をしてきた遺失物であり、その時々には生きた証の

押し花だった。」

へえ。素敵。

K だろ。売られてきた本をチェックして挟まってる切符とかレシートとかを見て、売った人の生活のことを想像したっていう。

俺は服とか物もそういう感じで気になっちゃうからキリないな。

どう使われてきたんだろうとか、これからどう使われていくんだろうとか。

それは結局わかんないけど、みんなここで停泊してるんだ。

転換音楽 C. I.

A、ハケる。

K、カウンターから出て椅子の後ろに立つ。



音楽 F. O.

D、診察台に誰か寝かせているかのように、椅子の後ろで立ってうつむいている。

V 口を開けてください。そう。もうちょっと、よく見えるように。

ああ、なるほどね。

別にこのままでもいいんですけど、周りの人がどう思うかなあ。

就職とか恋愛とか響くんじゃないかなあ。別にこのままでもいいんですけどね。

口を閉じてください。

D、器具を取り換えるしぐさ。顔を少し上げ、客席を見て話す。

D この物語はフィクションです。

フィクションだから、誰が「ですわ」とか「だわよ」とか「かしら」とか、そう喋っているように見えても違和感はない。ないですよね？

D、左右を見回し、自分の背中を見るように首を曲げ、戻す。

D オス、で、あること、を、あらわすための綺麗なものがあつたつて違和感はない。
ないですよね。

……この物語はフィクションです。

D、照明を暗くし、ハケる。

◇

アパレイユ音楽F. I.

A、店に入る。雑誌を読む。

K、店に入る。

K あら、もう来てたの。

A うん。今日ヒマで。

K 今日もヒマでしょ。こっちから呼んでやろうかと思つてたところよ。

あ、電気つけてくれる？

A はい。

A、照明を切り替える。

K チーズケーキ食べる？

A 食べるー。

K 商店街の角のところで安くなつてたんだよね。だいじょうぶかな。

A 縁起悪いからそういうこと言わない。

K はいはい。

じゃオバシくんも……。

A オバシくん？

K バイト。

A バイト？ いる？

K あ、明日だったわ、来るの。

A いつの間に雇つた？

K 先週。週三で店番しにくるわ。
A じゃ、わたしのほうが多いな。
K バイトでもないのに週四で来てるほうがおかしいわよ。
A なんか落ち着くんだよね。
K このゴチャゴチャ感がいいでしょ。
A 置いてある物は謎だけだね？
K 古本屋なのに本より服と物のほうが多いし。一…二…三くらい。
K 本と一緒に関連する雑貨も置いておくっていうの？ 画期的でしょ。
A いや、それはもう、全国にあるでしょ。
K えー、あれは新品じゃないの。古本と古い物が一緒にあるのがいいの。
A 古いっていうか、呪われそうなのばかりだけどなあ。あの仮面とか。
K あれはヤマナカさんちの亡くなったおじいさんのお土産を売ってもらったの。
A アフリカ大好きだったんだって。
A 本物じゃん。
K 本物よ。呪われるわよ。
A 置いとかないでよ、そんなの。
K かつこいいじゃない。だいたい先代も元のラーメン継がずにどんどんどんどん本並べちゃったんだからお互い様でしょう。
A あ、ここラーメン屋だったんだっけ。
K そうよ。言わなかったっけ？ ラーメン屋の居抜き。
A まあ本屋にこんなカウンターはいらねえもんね。
K 雑貨屋としてはいい感じかもね。商品並べたり。
A これから雑貨屋になっていくの？
K さあねえ。
A あ、さつき古い本と古い物が一緒にあるのがいい、って言ったじゃない？
A うん。
K 先代に紹介してもらったすごく好きな文章あるんだけど。言ったことあるっけ。
A ううん。
K、カウンター裏から本を取り出す。

K これは私物なんだけどね。

この「書物列車に乗ってきた旅人たち」っていうタイトルのエッセイ。読んでみて。

A 「切符、箸袋、チラシ、弁当の掛紙、伝言、精算書、割引券、へそくり、切手、四葉のクローバー、生写真、年賀状、招待券、軍事郵便、映画の切符、宝くじ、ラブレター、たばこのパッケージ、おみくじ、名刺、給与明細書、お守り、メニュー、菓の効能書き、ブロマイド、答案用紙、温泉案内、紙ナフキン、診察券、のし紙、コースター、包装紙、電報、通信簿、借用书、クリスマスカード、定期券、新聞の切り抜き、献立……。こうして書き並べていると、連想されるものは、遺留品。それともゴミ捨て場。まるで、何かの判じ物みたいだが、これらは全て古本の間に挟まっていたものばかり。古本屋をやっていて、人の思い出の絡むものたちを、返すに返せず、捨てるに捨てられず、なにげなく溜めていたものが、やがてわたしの悪趣味なコレクションになった。それらは何十年という旅をしてきた遺失物であり、その時々には生きた証の押し花だった。」

へえ。素敵。

K でしょ。売られてきた本をチェックして挟まってる切符とかレシートとかを見て、売った人の生活のことを想像したっていう。

わたしは服とか物もそういう感じで気になっちゃうからキリないわね。

どう使われてきたんだろうとか、これからどう使われていくんだろうとか。

それは結局わかんないけど、みんなここで停泊してるのよ。

アパレイユ音楽C・O・

K、カウンター裏に沈む。

A、床に座って後ろを向く。



カウンターの裏からXの手が伸びてくる。

くちばしの形を取って、左右を見回す。

A、声を当てる。

A 派手な鳥です。結婚したい。マジ結婚したい。祝われない。

二十四歳に結婚するつもりでいたのに気づいたら二十五歳になった。

A もしもし、おかあさん。うん、元気だよ。え、今週末？ うん、友達と。

いや大学の子だよー。ないない。そういうの。

もーやめてよ。まだそんなつもりじゃないよお。

A なーんてよくあるめんどくさいやり取りすら経由することなくおかあさんはまだわたしのことを十六歳だと思っている。

手の鳥、ぱたんとカウンターに寝る。

同時にAも床に倒れる。

A そんなわけ、ないじゃん。

手が引っ込む。



A は床に寝たまま。

V の声だけが響く。

V はいあーんして。

なるほどね。記録して。

イチ、ナカ、ヒロ、ニン、ウエ、ナカ、シタ、シー、マル。

タケ、エビスにオシオイケ。

アーネ、サーン、ロツカーク、ターコニーシキー。

シアーヤ、ブッターカ、マーツマーンゴジョウー。



Vの歌を引き継ぐように歌うK。

アパレイユ音楽、歌が終わったあたりからうつすらF. I.

Kはオバシと話している一人芝居。

K 雪駄ちやらちやら魚の棚、六条三哲通り過ぎ、七条越えれば八九条。十条東寺でとどめさす……、よく知ってるでしょ。

K 歯医者？

K あー。あの呪文みたいな。

K 確かにねえ。

K 似てるといえば、わたしはクバの布に似てるなと思ったことある。

K うん。アフリカにあるの。

K 待ってて。

K、奥から一冊の本を取り出してきて見せる。

K コンゴ民主共和国っていう国は昔クバ王国って呼ばれてて。

そのこの伝統の布なんだけど。ほら。

K でしょ。ベースは草木染のシンプルな布なんだけど、その上からタテヨコのものすごく細かい刺繍と、マルとかサンカクとか、なんかカギカッコみたいなアップリケも施されるの。

京都の地図も大きな通りの間に小さな路地がいっぱい通ってて、そのあちこちにお寺とか神社とか駅とかが散りばめられてるでしょ。

K そうよねえ。実はさ、わたし京都のこと、そんなに好きじゃなかったのよね。

何回も行ったことあるわけじゃないけど、なんか人が住んでる感じがしなくて。

K そう。でもクバの布を見てから親近感がわいたの。

細かい刺繍みたいになちみちみした路地に大勢住んでるんだろうなって。
変な話だけど。

K かつこいいい？

K 感性が？ 嬉しいこと言ってくれるじゃないの。

K あ、オバシくん、サプールは分かる？

K そうそう。あれもめちやくちやかっこいいよね。

暑いのにド派手なブランド物のスーツ着てさ、しかもポリシーが「服が汚れるから争わない」っていうの。アツい。

K で、これは、さっき言ったコンゴ民主共和国のお隣の「コンゴ共和国」の風習なんだけど、実は「民主共和国」のほうにもあるの。サプール。

K カラフルなスーツじゃなくて全身真っ黒でキメるらしいの。

K どっちも好きだなあ。

ほら、あそこにかけてある真っ青なスーツ。あれめちやくちや高いの。

サプールのイメージで仕入れちゃった。

K いや、あの黒のはわたしが元から持ってたやつ。

並べると高く見えるかなって。ズルしてる。

K ありがとー。

K また今度ね。

アパレイユ音楽 F. O.



A、椅子の後ろでうつむいて立つ。

D、床に座り、歯医者の治療を受けるように口を開けて上を向く。

V どうですか。

A どうですか。いい感じですよ。たぶん。

V いい感じですよ。たぶん。もう少しの辛抱ですからね。

A もう少しの辛抱ですからね。痛いですよ。

V 痛いよ。それは仕方ないですよ。

A 痛い。何を食べても痛い。口を開けても痛い。

いつ終わりますか。美しくなったら終わりますか。

D、患者のように座りながら、歯医者のように話す。

D 仕方ないんですよ。生きている限り。

A 自分のためにやってるんですよね。

D そうですよ。

A 自分がやりたくて、やってるんですよね。

D そうです。

A わかりました。来月もよろしくお願いします。

二人で礼。

D、ハケる。

A、礼の姿勢のまま止まる。

◇

トコトコと太鼓の音楽C. I.

音楽に合わせて踊るA。羽を広げて踊っていたつもりが、いつのまにか上の上に手を伸ばし続けるだけになる。

A 努力！ これは！ 努力！

誰かに見せるためじゃない！ 自分のため！ 自分のための努力！。

疲れてAは座り込む。

Kが入ってくる。マイムを始める。

歯を磨き、顔を洗う。化粧をしようとして手を止める。

クローゼットを開け、シャツとスカートとジャケットを着る。

姿見を見て、何の反応もなく立っている。

V 実にいいね。すばらしいね。いやー。素敵！。

ジャケットとスカート脱いで、スーツを着て、ネクタイを締める。
さつきと同様に立っている。

音楽がC・O.

同時にKがAのほうへ振り返る。

K、声は出さずに口パクで「綺麗だね」と言う。

A ありがとう。

K、出ていく。

◇

A、カウンター内の椅子に座る。

A お入りください。

K、入って、Aの了承を得て外側の椅子に座る。

Aは面接官のような態度、Kは就活生のような態度で話す。

A シゲさん。

K 何よ。わたしに振らないでよ。

A 結婚っていったいなんだろう。

K 急に難しいこと聞くわねえ。

A シゲさんは一回も結婚したことないんでしょ？

K まあね、縁がなくてね。

A さみしくないの？

K 別に。一人も楽しいからね。好きなこといくらでもできるし。

A そっかあ。わたしは結婚したい。早く祝われない。

K 祝われない？

A 言われたいじゃん。

おめでとーとか、いい相手見つかったねーとか、これで安心だねーとか。

K ああ……。わたしが思うのはね、「結婚おめでとう」っていうのは、なんかそういうことじゃなくてさ。「結婚という超めんどくさい契約に漕ぎつけるまでのその人と相手のそれまでの人生」を祝福してるのよ。

A だから早い遅いとかないし、出会いからが早すぎるとか離婚までが早すぎるとかもないの。その時点まで生きてきた以上、結婚する人はみーんな平等に祝われていい。はあ。

K あ、納得してない。だから、してないから不幸ということもないわけ。プラスだけ。おみくじで凶を引いちゃった人はアンラッキーだけど、大吉引こうが凶を引こうが、引いてない人に対して「引かなくて可哀想」なんて思わないでしょう。

A うんうん。

K まあ「引いたほうが楽しいよ」とは言えるだろうし、言われた側も「ふーん、そっか！」でいいと思うわ。

A あー、なんか、なんとなく分かったかも。すごいね。こんなしつかり返ってくると思わなくて。

K ちよつと長く生きてるだけのことはあるでしょ。

K あとねえ、雑談にしては重たい。

A そう？　じゃあ重たい雑談ついでに。こないだ、土曜かな。電車乗ったらさ、痴漢に遭った。最悪。

K あー……。それは……。ひどいやつもいるわね。

A うん。

K うん。

A ……それだけ？

K え、うーん悪いけど、共感できないっていうか……。

K 痴漢、一回も遭ったことないし。

A いや、それはそうでしょ。

K ね。こんな女に見えないもんね。

A ……え？

K、ニツと笑う。

転換音楽 C・I.

二人ともハケる。



音楽がざわめきに変わる。

A、大教室に入る。

講義が終わり、荷物をまとめて帰る。

四回繰り返す。次第に身の入らない感じになってくる。

ざわめきF・O・

D、大教室に入る。

マイクチェックを始める。よく通るが聞き取りづらい滑舌。

まもなく講義が始まる。

講義はお客さんを学生に見立てて、前を向いて行う。

D あ。あー。はい。おっけー。です。みなさん着席してくださいねー。はい。

前回はね、ミトコンドリア・イヴのことまでお話したかと思うんですけども。今日
はようやく出(しゅつ)アフリカについて触れていこうかと思えます。これはですね、
アウト・オブ・アフリカだとか、アフリカ単一起源説とも言いまして、地球

A、大教室に入ってくる。

その間、Dはストップモーション。Aが着席して再開する。

D 上のヒト、つまり現生人類であるホモ・サピエンスはアフリカで誕生して、そのあと
世界中に広がっていったとするものです。えー、この説は、まあ遺伝子学的にも裏付
けられたこととおよその科学者に支持されていたわけですが、が、ごく現在になって
覆されようとしています。多地域進化説とも言っています、原人ホモ・エレクトスが、
あー、世界各地でサピエンスへと進化したというものですね。現生人類のDNA分岐
の出発点であるミトコンドリア・イヴが約十六万年前に南アフリカに存在したとい
う発見によってアフリカ単一起源説が有利だったわけですが、新たに北アフリカで
発見された化石が約三十三万年前のものだということが分かった。これは大変なこ
とですよ。

その後もホモ・サピエンスともネアンデルタール人とも異なるデニソワ人という種が見つかつたりですとか。これまで考えられてきたよりもずっと多様な形で、人類が並行して進化を遂げていったという証拠が出てくるようになってきました。

あー、さて、生態学的地位というものがあって、「ニッチ」という言葉をご存知でしょうか。隙間という意味があるんですけれども。同じ生態、例えばある地域である時間に活動して、ある主食を食べて生きている。こういった生態が別

うとうとしていたA、突つ伏して寝てしまう。

D、再びストップモーション。

沈黙ののち、再開して目が覚めるA。

D の生き物同士で被ってしまうと、片方が駆逐されてしまうわけです。

単一起源説であれ多地域進化説であれ、同時に複数の種類が存在していた人類が、現在ののように種類になってしまった一因に、この生態的地位の奪い合いがあったのではないかと考えられています。

まあそもそも奪い合いになることを避けなければ生き残ることは難しいんですけども、そのための手段として、棲み分けや食い分けがありますね。川の上流と下流、木の高いところと低いところ、なんてふうに住む場所を変えるのが棲み分け。昼行性と夜行性なんかもありますね。で、主食が被らないようにするのが食い分け。クマとパンダみたいな感じですね。こういった自然の工夫はジャングルの中で実に複雑に展開されていますが、身近にいる魚や鳥でも見ることができます。何か例を思いつく方はいますかね。知多さん。

A はい！。

D 今のところ分かりましたか？

A え……っと。

本当は声をかけられていないし答えてもないが、座っているのが苦痛でふらっと出て行ってしまふA。

A すみません、ちょっとお腹が痛いです。

A、ハケる。

D お大事になさってください。では続けます。

D、黒板に字を書く動き。一度書いて、じっと見てから消す。

◇

アパレイユ店内だが音楽はなし。

K、店のあちこちを掃除している。Aのほうは見ない。

A、上手に立ち、カウンターのほうを見ながら話す。

V 人間と動物の求愛の違いは言葉があるかどうかなんだって。

A そうなんですか。

V パートナーだと正式に認められるために、デートや告白をするなりして気持ちを共有する必要があつて、動物にも求愛行動があつて。

つまり、自分に価値があるってことを示さなければいけないわけで。

A はい。

V 分かりにくいよね。クジャクって。

A え、そうですか？

V シゲさん、コンゴクジャクって知ってる？

A 知らないです。

V クジャクなのに飾り羽がなくて、真っ黒で、すごく地味な鳥なんだって。

昔はアフリカにクジャクはいないって考えられていて、見つかった標本も最初は普通のインドクジャクのヒナと間違われていて、でも本当はクジャクの原始的な特徴を残した種類なんだって。

A 初めて聞きました。

V そんな地味な鳥も羽を広げて踊ったら、気持ち伝わるのかなあ。伝わるっていいなあ。

A そうですね。

アパレイユ音楽C. I.

A、椅子に座る。

K、カウンター内にいる。

A シゲさんおじさんじゃないの？

K おじさん言うなよ。おばさんだよ。

A うそ。

K うそじゃないんだー。遺伝かなんかで体格がいいだけ。高校までバスケでパワーフォワードやってただけど、ゴール下で役に立つのなんの。

A 名前シゲルじゃん！。

K いや、いるよ。芸能人にもいるよ。

A あっ。いる。

K え、じゃあなんで男の人の格好ずつとしてるの。自分のこと俺とか言うし。

K 話すと長くなるよ？

A いいよ。

K んー、声とか見た目が浮いてることはそこまで気にしてなかったんだけど。しんどかったのは、周りが言ってる愚痴とか悩みとか、全部分かんなかったことかな。毎回さつきみたいに気まずい感じになっちゃってさ。それでまあ仕方ないし分かる必要もないかーって割り切ってたんだけど、そういうのにもじみ出るんだろうね。あんまり人に興味ないのが。こっちが興味ないとあっちも興味なくすじゃん。大人になると特に。昔は興味持ってもらえてるのかなってことも多かったけど、やっぱりこの、外側で止まっちゃってるわけ。で、「実は女なんです」「えー！」で殻を破れたような気もするんだけど、やっぱり二枚目のガワでしかない。「珍しい人もいるもんだー」っていう。だからわざわざ一枚目を取っ払うのがめんどくさくなっちゃって。ぱっと見が男に判定されるなら、男として暮らしていくのも悪くないかって。「男として生きる」のとは違うよ。機能とか根本的に寄せてってはないし、一応(胸)あるし、(下)ないし。…見る？

A いい、いい、いい、いい。

K あとね、体格関係なく、内面もたぶんトランスベスタイトだから。

A トランス……なんて。

K トランスベスタイト。ざっくり言えば女装とか男装とか、自分の性別とは別の格好を
していたい人って感じ。

A 初めて聞いた。

K まあいっぱいいるからね。ハッキリ分類しないけど。でもそのあたりであんまり悩まなかったのは、そういう名前がちゃんと先にあっただからだと思う。もっと小柄な見た目だつとしても、男の格好してたんじゃなかなって。だとしたらラッキーだね。こんなに身長も肩幅もあるの。

A すごいポジティブ。

A、本棚のほうを見て。

A オバシくん？

K あー。そうか。

アパレイユ音楽F・O.

A、ハケる。

K、カウンターから出て椅子に座る。

◇

どこかの博物館。

警備員の歩く足音が聞こえる。やむ。

顔を伏せ、腕を掲げて、二体のパペットのようにくちばし状の手を動かす。

X あ——、暇。ねえ新入り。

あ、そうか。ルールがあるから、同時には喋れないのか。めーんどう。

ねえ、答えて、新入り。

X そんなに新入り新入りって言わないでもらいたいな。最近発見されただけで、わたしだつてクジャクなんだから。なんならこつちのほうに先に生まれてるんだからな。今のお前がいるのはわたしのおかげなんだ。

X そんな見映えの悪いクジャクがいてたまるか。さつさと繁栄すればいいものを、いつまでも森の奥に引きこもっているから発見されるのが遅れるんだ。ただでさえ暗い色をしているというのに性格まで暗いのか。

X こっちの苦労を知らないからそんなことが言えるんだ。存在すると分かったとたんよってたかって捕まえに来て。生きた心地がしないってもんだ。
雉も鳴かずに撃たれまいて言うだろう？ わたしはクジャクだけど。
X わたしもクジャクだけど。クジャクと言えばわたしだけど。
X わたしもクジャクだけど。クジャクと言えばわたしだけど。

X、顔を上げる。

X 当たり前なんてこの世にないのさ。

X、ハケる。

◇

アパレイユ音楽F. I.

A、店に入る。雑誌を読む。

K、店に入る。

A シゲさん。

K んー？

A 今度の土曜日さ、デートに行くんだけど。

K あら。

A どんな服着たらかわいいと思う？

K 珍しいわね、そんなこと聞いてくるの。

A いつもデートする宣言だけして相談なんてしないじゃない。

A 相手がレベル高いの。今回は。

K レベル？ あー、オシャレな子が求められるわけね。

A やっぱそうだよねえ。

K あすかさん色々サボってるんじゃないの。

A 否定はできない。最近三桁の服しか買ってない。

K 三桁！？ ここ六桁の服あるよ。

A 六桁!?

あれだよ、という風に指すKとそれを見るA。

A へえー。

K かつこいいでしょ。フランスのスーツ。

A ひえー。フランスで買ったの?

K フランスでは買ってないわよ。

譲ってもらったっていうか、ちよつと安く仕入れさせてもらっただけ。

A いいなー。

K まあ六桁とは言わないけどまず四桁ね。

A 分かんないんだよねえ、好きな服と似合う服と、社会的にいい感じに見える服と買える服と、ちよつとずづズレてない? どのへん狙えばいいんだろうつて考えだすともう手出せない。

K わかる。そういう時期もあった。

A 買ったちゃったら取返しつかないじゃん。

K 慣れよね。きつと小さい頃から失敗を重ねるのよ。

A そうかなあ。オシヤレかあ……。なんでこのままじゃだめなんだろ。

K 別にだめじゃないけどねー。あすかさん結構整ってるし。

A え! えへ!

K そこ調子に乗らない。でもみんな綺麗なんだよ。磨けば光る原石ばかり。

A 磨き方が分かんない。

K そのうち分かる。

A そのうちたつたって周りに追いつけなかったら意味ないんじゃない。

K そんなことないわよ、今からだつて遅くないわ。というかあすかさんに周りに合わせる発想があったとは。

A あるよ。

K こないだやってたレポートだっけ? は出せたの?

A 出したけど埋まってないや。

K あららあ。このあともあるんでしょ授業。

A あるよー。わたしより時間割詳しいのやめて。

K だって空きコマのたびに來てるじゃないの。
A まあね。

席を立ち、店を出ていこうとするA。振り返って。

A シゲさんはどんな大学生だったの。

K わたし？ フツー。単位落としたことないわよ。

A やだなー。それが普通っていうのが大変なんだって。

A、店を出ていく。

K 行ってらっしゃーい。

カテコ音楽C・I.

脚本使用規約

- ・無料で脚本のダウンロードをすることができますが、上演には脚本使用料が発生します。
- ・脚本の著作権はいのまちあーみに帰属します。
- ・上演を希望される方は必ず脚本の使用許可をとって下さい。
- ・無許可での上演を発見した場合、下記の脚本使用料と別途に5,000円請求させていただきます。

・公演情報を掲載する際は必ず「脚本：いのまちあーみ」と明記して下さい。

【脚本使用料】

- 稽古で使用する場合
どなたでも許可なく使用可。無料。
- 非営利目的（無料公演）の場合
・学生：無料
・その他：3,000円
- 営利目的（カンパを含む）の場合
・上演日が3日以下の場合：5,000円
・上演日が4日以上の場合：5,000円（上演日－3）×500円

【脚本使用許可の流れと依頼先】

①代表者氏名、連絡先（メールと電話番号の両方）、劇団名、開演日時（全ステージ）、会場名、チケット料金、劇団のEメールやSNSのURL（あれば）、その他特記すべき事項を info@ai-lai-main.jp（来來戸来制作）宛に送って下さい。

②使用料と振込先をお知らせします。

③振り込みが確認できた時点で脚本の使用を許可します。

※1週間を過ぎても返信が確認できない場合は、迷惑メールフォルダ等を確認して頂いたあとに再度ご連絡下さい。

2021年2月27日より適用。

予告なく改編することがあります。